


 いわき市立総合磐城共立病院

地域医療連携室だより

～地域密着を目指す地域医療連携室の活動～

いわき市立総合磐城共立病院 院長 樋渡 信夫



総合磐城共立病院地域医療連携室は、いわき医師会の協力のもと、患者様の多様化するニーズに応え、親しまれ信頼される病院として重要な役割を果たしております。

地域医療機関との連携は、地域密着型の市民病院としては、大切なひとつの要因と考えております。

地域医療連携室の窓口を利用していただきますと、①優先的診察（待ち時間の短縮）②希望する医師への受診③カルテ作成時間の短縮等が、優遇される仕組みとなっております。

また、登録医療機関（開業医）におかれましては、①患者数の増加や②紹介できる病院・医師を持つことにより、医療の内容の充実とセカンドオピニオンの役割を果たし、患者様の信頼性も向上させ、登録意図病院の密着した医療の展開が図られます。

地域への活動としては、大きく分けて「地域医療機関訪問」「地域団体訪問」「グループ医療機関との連携」の3つの柱がありますが、昨年度から当院の情報提供のひとつとして、地域医療機関訪問を実施し、訪問先からの要望・意見等に対して積極的に対応しております。

機能分化が進むなか、連携しやすい病院として紹介に対する迅速な報告・紹介元への確実な返礼等、色々な要素はありますが、今後積極的に交流活動を図ってまいりたいと思います。


【いわき市立総合磐城共立病院 地域医療連携室】

電話 0246(27)0225(直通) FAX 0246(27)5258

 URL <http://www.iwaki-kyoritsu.iwaki.fukushima.jp>

 E-mail kyoritsu@iwaki-kyoritsu.iwaki.fukushima.jp

診療科
紹介

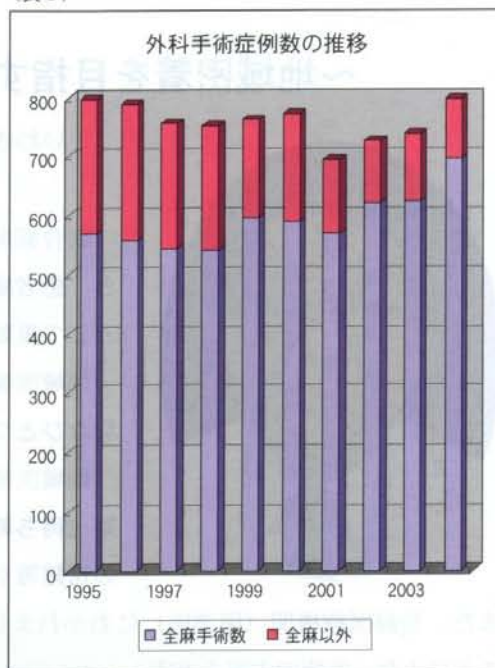
外科

副診療局長兼救命救急センター担当
外科部長 新谷 史明

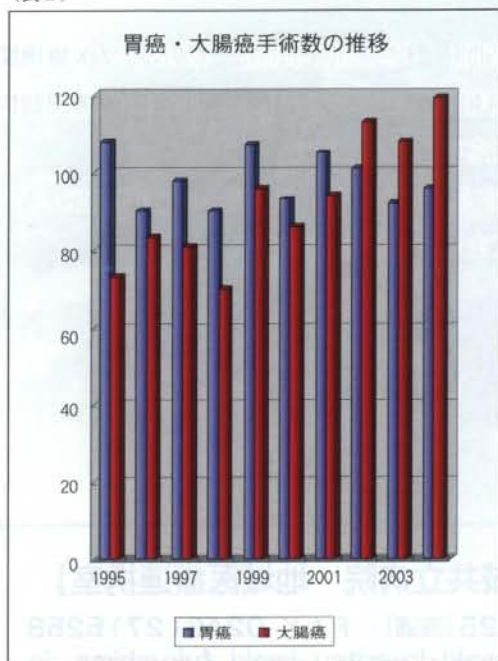
当院外科は、1950年の病院開設時より医師数2名で始まり、いわゆる一般外科から呼吸器外科、心臓血管外科、脳外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、小児外科、形成外科の開設により、現在は消化器、乳腺・甲状腺外科が主体の外科となっています。食道癌、胃癌、大腸癌、肝癌、膵癌、胆道癌などの消化器悪性疾患、消化性潰瘍、胆石症、炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎）、成人のヘルニア、痔核、痔瘻などの良性疾患、腸閉塞、腹膜炎、腹部外傷などの救急外科疾患から、乳癌、甲状腺癌、甲状腺腫まで、対象疾患は多岐に及びます。2002年より救急部スタッフが増員されましたが、腹部救急疾患については救急部と外科が協力して診療に当たっています。

手術症例数はここ数年増加の一途をたどり2004年は全身麻酔症例697例、総手術症例数798例でした（表1）。

（表1）



（表2）



胃癌手術は100例前後で経過していますが、大腸癌手術症例は年々増加し、119例となりました（表2）。

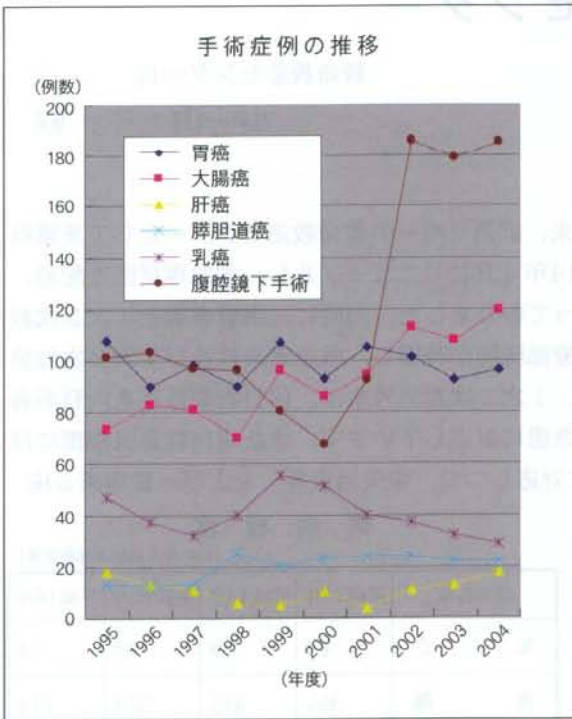
手術術式については低侵襲手術をこころがけ、早くから乳癌に対して乳房温存手術を行い、

またKugel Patchによる成人鼠径ヘルニア根治術、迷走神経温存胃癌手術などを導入、さらに胆嚢摘出以外にも腹腔鏡下に腸閉塞解除、結腸切除、虫垂切除、肝嚢胞開窓などを行い、腹腔鏡下手術はここ3年間で年間180例程度まで増加しています（表3）。

成人鼠径ヘルニア、胆嚢結石症、胃癌についてはクリニカルパスが稼動し、外科入院から手術、退院までをそれぞれ5日、6日、14～20日に設定し、医療資源の節減に努めています。

スタッフは現在常勤医10名、嘱託医2名（後期研修医）、臨床研修医数名を加え、2～3名でチームを作り、病棟診療に当たっています。平日の午前中は新患担当1名、再来担当2名で外来診療に当たり、午後及び時

(表3)



間外・休日の急患には外科外来、救急外来を窓口により毎日当番医師が待機する態勢になっています。急性腹症に関してはいつでもご相談ください。

常勤医の専門分野は肝胆道外科、急性膵炎、移植外科、乳腺・甲状腺外科、消化管悪性腫瘍、炎症性腸疾患、栄養代謝、腹腔鏡手術、救急医療、医学教育、病院情報システムなど対象疾患同様に広範囲にわたっており、その専門性を生かして外科診療のみならず病院全体の構創対策、クリニカルパス作成、オーダーリングシステム構築などにも深くかかわっています。



〈外科医局員〉



診療科
紹介

救命救急センター

救命救急センター長

小山 敦

救命救急センターは、昭和55年に認可を受けて以来、浜通り唯一の救命救急センターとして茨城県北部を含む広域の救急医療を担ってきました。平成14年4月にリニューアルし、救急専従医を配置、救急医療部を発足させるとともに、設備の拡充を図って参りました。同時に、患者導線を1次2次救急外来と、3次ゾーンにわけ、3次ゾーンに救急医療部医師が待機し、救急車来院及び1次2次救急外来より振り分けられた重症患者に対応しています。1次2次救急外来は、休日夜間外科系内科系各2名および小児科1名体制で、年間3万人あまりの急患に対応しています。また現在救急医療部には6名の救急専従医がおり、年間約3,900台の救急車に対応しつつ、中央治療等、および一般病床5床

で入院患者を受け持っています。当センターは、独立型ではなく、既存の設備や、マンパワーを活用しつつ運営していくいわゆる併設型救命救急センターという形態をとっており、当センターに搬送された患者は、救急医療部で初療を終えた後、当該科が、明らかな患者は、その科で入院となります。当院では、全ての診療科で、24時間オンコール体制をとっており、必要があれば原則いつでも専門医による診察が可能です。しかしながらこの体制維持のために診療科によっては、1～2名の医師で日常診療のかたわら、ほぼ連日の時間外オンコールを強いられている現状があります。

傷病程度

(いわき市消防本部救急車)

傷病程度	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
死 亡	64	79	35	24
重 傷	491	475	574	774
中 等 症	1,631	1,587	1,668	1,848
軽 症	1,583	1,205	1,032	839
そ の 他		1		
合 計	3,769	3,347	3,309	3,485

救命救急センターとして、私どもが重視していることは、多発外傷や、急性心筋梗塞、ショック患者など、緊急度および重傷度ともに高いいわゆる3次救急に該当する患者を要請があれば滞りなく全て受け入れることです。本来ならば、すべての救急患者を受け入れ、当院内部で振り分けるシステムが理想的なのかもしれませんが診療スペース、マンパワーから現実的ではなく、そのため救急隊にはトリアージを強く要請しており、2次医療機関や、地域の先生方の御協力で何とか現在の体制を維持できている状態です。過去のデータからは、外因性疾患については診療圏内で発生した重症患者の9割以上は、当センターに搬入されていますが、内因性疾患では6割前後にとどまって他医療機関に大きく依存している現状は認識しております。かかりつけ等で搬送されているならよいのですが、救急隊や、われわれの判断が、適切でない場合も多少あると思われ、今後とも御協力、ご指導いただきたいと思えます。

同様に救命救急センターの果たすべき重要な役割として、地域の先生方との連携にあって、市民の生命を守る最後の砦であるべきと考えております。これまで当院に患者様を紹介したくても窓口がわからないということで、先生方にはご不便をおかけして参りましたが、このたびの地域医療連携室立

ち上げで、多少なりとも改善されていればと期待しています。まだまだ日が浅く、改善の余地が多々あることと思います。忌憚なきご意見をいただき、少しずつでも先生方にご利用して頂きやすいシステムに変えていければと思っています。

即日救急対応が必要な患者様につきましては、日勤帯（平日 8:30～17:00）は救急外来（27-2137 直通）にご連絡ください。まず救急担当看護師が対応致します。症状などから当該科が明らかな患者様についてはその科の担当医にお繋ぎいたします。当該科がはっきりしない患者様や、心肺危機が迫っている患者様については、その旨お伝えください。救急医療部で対応致します。（心肺停止など、緊急を要する患者様のご紹介の際には、先に救急車を呼び、直接救急外来にご連絡頂いても結構です。その場合でもごく簡単で結構ですので診療情報のご提供をいただければ幸いです。）

休日時間帯でも、救急外来（27-2137）にご連絡ください。1次2次救急外来担当医師が電話対応させていただきます。即日救急対応が必要な患者様についても、窓口を地域医療連携室に一体化できればよいのですが、マンパワー等の問題でこのような対応とさせていただいております。

当院は地域に根差した急性期病院、紹介型病院への転換をすすめて行く考えです。当院に求められている役割をふまえ、地域医療連携をいかに築いていけるかはそのための中心的課題であると思います。ご利用いただきやすい地域医療連携室となるよう、救命救急センターとしても努力していく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

〈救命救急センター医局員〉



新
任
医
師
紹
介

土岐利彦 (とき としひこ) 産婦人科

4月から当院産婦人科に赴任してまいりました土岐と申します。

昭和54年東北大学卒。専門は婦人科の良性・悪性腫瘍の診断・治療全般です。地域医療に貢献できるよう、ベストを尽くします。宜しくお願いいたします。

安井友春 (やすい ともはる) 産婦人科

4月1日付で着任いたしました。専門は周産期です。地域医療に貢献できるよう努力していきたいと思います。宜しくお願いいたします。

大槻健郎 (おおつき たけお) 産婦人科

4月から産婦人科で勤務しています。産婦人科全般に診療しておりますので、宜しくお願いいたします。

中村潤 (なかむら めぐみ) 小児外科

1960年1月生。1985年東北大学卒業。東京都出身。

これまでに築かれた当科のレベルを維持し、地域医療に貢献できるよう精進します。

2人体制では限界もありますので、連携機関の皆様のご支援・協力をよろしくお願いいたします。

徳山聡 (とくやま さとる) 泌尿器科

4月1日付で着任いたしました。共立病院は初期研修時に6ヶ月、学位取得後に2年、そして今回と3回目の勤務になりますが、立場が変わるとともに責任が増していくのを実感する毎日です。よろしくお願いいたします。

島田典宏 (しまだ のりひろ) 消化器科

東北大学大学院を卒業し、当院消化器科に勤務しております。大学院在籍中は、上部消化管グループに所属しておりました。微力ではございますが、職務に精励する所存でございますので、よろしくお願いいたします。

野下展生 (のした のぶお) 脳神経外科

本年4月より当院で勤務しております脳神経外科の野下です。いわき市および周辺地区の医療のお役に立てればと思いますので、よろしくお願いいたします。

成川孝一 (なりかわ こういち) 神経内科

神経内科は、他科、研修の先生の温かいご協力にて成立しております。

ご迷惑をおかけする事が多いと思いますが、当院の果たす役割のひとつに私も貢献できるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



田中 健太郎 (たなか けんたろう) 整形外科

4月1日から当院整形外科で診療することになりました。宜しくお願いします。

川崎 卓也 (かわさき たくや) 外科

出身は茨城県で、平成13年に福島県立医大を卒業その後、筑波大の消化器外科に所属しました。今後いろいろお世話になると思います。宜しくお願いいたします。

佐藤 崇匡 (さとう たかまさ) 循環器科

昨年市内の病院で勤務しておりました。いわきに参りましてから2年目となりますが、引き続き地域医療に貢献していきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

唐島 大節 (からしま ひろたか) 整形外科

4月から連携機関の皆様にはお世話になっております。いろいろご迷惑をおかけしておりますが、宜しくお願いいたします。

**吉田 敦子** (よしだ あつこ) 放射線画像診断科

現在、放射線画像診断科は1人体制です。このため、読影レポートをなかなか早くお返しできないことがあり、ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、精一杯努めさせていただきたいと思っておりますので、何卒宜しくお願いいたします。

牛尾 茂子 (うしお しげこ) 形成外科

今年で5年目になり、非常に症例数の多い共立病院に赴任できたこと心から嬉しく思います。持前の明るさを武器に皆さんに貢献できたらと思います。どうぞ宜しくお願いします。

中目 亜矢子 (なかのめ あやこ) 耳鼻咽喉科

初期研修を終了し、4月1日より当院にて勤務しています。微力ではございますが、いわき市及び周辺地域の医療に少しでも貢献できるよう力を尽くしたいと思います。

渡邊 亮 (わたなべ あきら) 眼科

4月1日付けで当院に赴任となりました。こちらに来る前は東北大学病院に勤務しておりました。まだ経験が浅い若輩者ではありますが、宜しくご指導・ご鞭撻のほどお願いいたします。

竹内 誠人 (たけうち まさと) 歯科口腔外科

3月に臨床試験を終え、4月に赴任してまいりました。

なれない外来診療と、主治医としての責任の重さに戸惑っておりますが、スタッフの方々に支えられながら頑張っておりますので、宜しくお願いいたします。

地域医療連携室からのお知らせ

診療範囲の縮小について

次の診療科につきましては当院の事情により診療範囲が縮小されており、何かとご不便をおかけしております。

呼吸器科について

- 呼吸器内科は医師が一人のため原則として新患の診療はしておりません。(排菌結核患者は除く)
- 呼吸器外科に関してはこの限りではありませんが医師2名での診療のため、希望日に予約がとれないことがあり、電話で希望日の調整をお願いすることがあります。

心臓血管外科について

- 外来診療日：月・水の午前中のみとなっております。
この曜日以外は手術日のため診療ができません。
呼吸器外科同様希望日の調整をお願いすることがあります。

新メンバー紹介

地域医療連携室に4月より看護師の1名が配属されました。
3人のメンバーで対応しております。

配属された影井です。
他、佐藤、根本の3人で
対応しております。
今後とも共立病院
地域医療連携室を
よろしくおねがいします。

新しい直通電話が入りました。

☎ 0246 (27) 0225 です。

お 願 い

診療申し込みは受診希望日前日（受診希望日が休業日の翌日の場合は休業日の直前の営業日）の午後3時までとなっております。それ以降の申し込みは、対応できない場合がありますので、ご協力をお願いします。

なお、土曜・日曜・祝日は休みとなりますので、FAXが利用できない状態になります。なお、救急の患者様の連絡につきましては、救命救急センター（電話0246(27)2137）へ連絡をお願いいたします。

ご理解と御協力よろしくお願いいたします。

